

特攻平和観音経

恭しく伏して惟んみるに天地開闢以来この世に生を享けしもの幾十百千万億兆なるを知らず。

その間同種相集い同族相結んで国をなし互いに境を劃し、相互反目反噬してその国土の拡張を凶り争奪して止まざること百千万劫なり。

就中、中世以降、西欧の諸列強は善良盲目の後進諸国を併呑し、もろもろの種族を圧伏して植民の苦を与え、その野望の樂を取りぬ。世界の旧秩序即ち是れなり。

我が邦は、古来平和を以て八紘為宇の大理想となし、万邦融合の大理念を掲ぐることに三千年、昭和の聖代に至り、世界に一大新秩序を齎らさんことを庶幾し遂に曠古の大戦となる。

一億同心。打ちてしまの豪氣蕩々、挙国戦務を務むるも、奈何せん、彼我の戦力隔絶し、戦勢日に非にして、大事將に去らんとす。

慈に忠勇無双の紅顔の烈士、自奮自励、九死に一生を期せず、特攻以て敵機、敵艦船を求めてこれを屠り敵陣營の騰を奪う。その挙の壮烈にして、その果の偉大なる、全世界の矚目するところなりき。然りといえども、遂に

惨絶の敗戦に会す。我が邦無前の苦難、ああやんぬる哉。特攻烈士の挺身殉国の表情を付度すれば、人皆言辞を嚙み、熱涙胸宇に充つ。

それ人身は享け難く、その生を終るや難し。前漢の大史公司馬遷にこれを聞く一人固より一死あり。

死或は泰山よりも重く、或は鴻毛よりも軽し。これを用うるに趣くところ異なるなり」と。

特攻勇士の諸霊は正に忠烈の龜鑑なり。諸霊が父母の恩愛を断ち、大忠、大孝、大義、大勇に徹せし崇高無比なる境涯に相到せんか誰か万斛の涙なきを得んや。

老いも若きも泣き
男も女も哭き
草も木も、馬も羊も涙せん
玉も磚も悉く悲しまん
天地万象凡て慟きて止まざらん

唯、諸霊を慰め得るもの一つあり宇内に無慮一百三十有餘の独立国家の新秩序の出現これなり。

真に世紀の偉業。この赫然たるに匹儔するもの果たして他にあらんや。

これ正に諸霊の志の顕現なり。諸霊の血の発露なり。諸霊や、大仁にして大徳、大勇にして大善なり。故に諸士の霊徳や無量なり。諸士の光顔や巍々たり。諸士の威神や無極なり。

その威徳は日月と耀を争い、その勲績は末代永世に亘りて宇内に広宣流布せられんこと豈疑を容るるの余地あらんや。

嗚呼尊い哉、嗚呼仰がん哉、長存不滅の光

南無特攻平和観世音菩薩
南無特攻平和観世音菩薩
南無特攻平和観世音菩薩